JENESYS2.0

ＪＥＮＥＳＹＳ２．０
科学技術・インフラ・ものづくり　第 25 陣
（対象国：ASEAN 諸国・東ティモール）

１．プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、3 月 30 日から 4 月 7 日までの日程で、ASEAN 諸国及び東ティモールの 11 カ国から、科学技術・ものづくり・先端技術に関心のある大学生訪日団 103 名が日本を訪問しました。

クール・ジャパンを含め、わが国の強みや魅力、日本人の価値観への理解促進を目的として、東京都、千葉県、青森県、宮城県にて、学校訪問、企業訪問、文化体験等を行い、日本に対する理解をより一層深めました。

２．参加国・人数

ASEAN 諸国及び東ティモール、 11 ヶ国計 103 名：
インドネシア（10 名）、カンボジア（10 名）、シンガポール（9 名）、タイ（10 名）、東ティモール（10 名）、フィリピン（10 名）、ブルネイ（6 名）、ベトナム（10 名）、マレーシア（10 名）、ミャンマー（8 名）、ラオス（10 名）

※50 音順

３．訪問地

東京都（全員）、千葉県（全員）、青森県（51 名）、宮城県（52 名）

４．目的

１）日本の科学技術・ものづくり・先端技術に興味・関心を有するアジア諸国の青少年が、クール・ジャパンを含め、我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本人の価値観への理解を深め、帰国後、日本の魅力について積極的に発信する。
２）アジア諸国と日本の青少年の相互理解と交流をはかり、将来の礎を築く。
３）日本とアジア諸国の関係を深め、親日家の芽を育む。
４）日本国内の地方の国際化のため、グローバル人材としての青少年の発掘。

５．日程

3 月 30 日（月）または 31 日（火）
成田国際空港または羽田空港より入国

3 月 31 日（火）
来日オリエンテーション

4 月 1 日（水）
【視察】日本科学未来館
グループに分かれ青森県、宮城県へ移動

4 月 2 日（木）～4 月 6 日（月）
グループ別に青森県、宮城県へ滞在

グループＡ・Ｂ：青森県
【自治体表敬訪問】南部町
【学校交流】八戸工業大学
【視察】アルバック東北株式会社、多摩川精機株式会社 福地第二工場
【日本文化体験】ホームステイ
【ワークショップ】報告会準備

グループＣ・Ｄ：宮城県
【自治体表敬訪問】仙台市
【学校交流】東北工業大学
【視察】ＹＫＫ ＡＰ東北製造所、有限会社千田清掃
【日本文化体験】ホームステイ、鳴子こけし絵付け
【ワークショップ】報告会準備

4 月 6 日（月）
東京へ移動、報告会

4 月 7 日（火）
成田国際空港または羽田空港より出国

６．写真

６－１．共通プログラム：オリエンテーション

3/31 オリエンテーション　（東京都）	3/31 オリエンテーション　（東京都）
Orientation (Tokyo)	Orientation (Tokyo)

６－２．都内プログラム：全グループ

4/1 最先端技術：日本科学未来館（東京都）	4/1 最先端技術：日本科学未来館（東京都）
Cutting-Edge Technology：National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan) （Tokyo）	Cutting-Edge Technology：National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan) （Tokyo）

６－３．地方プログラム

①Ａ・Ｂグループ（青森県）

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>4/2 地方自治体表敬訪問：南部町長（南部町）
Courtesy Call：Mayor of Nanbu Town (Nanbu Town)</td><td>4/2 地域概要紹介：南部町（南部町）
Introduction of the Region：Nanbu Town Hall (Nanbu Town)</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>4/2 学校交流：八戸工業大学（八戸市）
School Exchange：Hachinohe Institute of Technology (Hachinohe City)</td><td>4/2 学校交流：八戸工業大学（八戸市）
School Exchange：Hachinohe Institute of Technology (Hachinohe City)</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>4/3 最先端技術：アルバック東北株式会社（八戸市）
Cutting-Edge Technology: ULVAC TOHOKU, Inc. (Hachinohe City)</td><td>4/3 最先端技術：アルバック東北株式会社（八戸市）
Cutting-Edge Technology: ULVAC TOHOKU, Inc. (Hachinohe City)</td></tr>
</table>

4/3 最先端技術：多摩川精機株式会社（南部町）	4/3 最先端技術：多摩川精機株式会社（南部町）
Cutting-Edge Technology：Tamagawa Seiki Co.,Ltd (Nanbu Town)	Cutting-Edge Technology：Tamagawa Seiki Co.,Ltd (Nanbu Town)
4/4 ホームステイ（南部町）	4/4 ホームステイ（南部町）
Homestay (Nanbu Town)	Homestay (Nanbu Town)
4/5 ホームステイ歓送会（南部町）	4/5 ホームステイ歓送会（南部町）
Farewell Party with Host Family (Nanbu Town)	Farewell Party with Host Family (Nanbu Town)

4/5 ワークショップ（南部町）	4/5 ワークショップ（南部町）
Workshop (Nanbu Town)	Workshop (Nanbu Town)

②C・Dグループ（宮城県）

4/2 地域概要紹介：仙台市(仙台市)	4/2 学校交流：東北工業大学（仙台市）
Introduction of the Region：Sendai Municipal Government (Sendai City)	School Exchange：Tohoku Institute of Technology (Sendai City)
4/2 学校交流：東北工業大学（仙台市）	4/2 学校交流：東北工業大学（仙台市）
School Exchange：Tohoku Institute of Technology (Sendai City)	School Exchange：Tohoku Institute of Technology (Sendai City)

4/3 歴史・伝統文化：鳴子こけし絵付け体験（大崎市）	4/3 歴史・伝統文化：鳴子こけし絵付け体験（大崎市）
Historical and Traditional Culture：Naruko Kokeshi (Wooden Doll) Painting (Osaki City)	Historical and Traditional Culture：Naruko Kokeshi (Wooden Doll) Painting (Osaki City)
4/3 環境：千田清掃（大崎市）	4/3 環境：千田清掃（大崎市）
Environment：Chida Clean Corporation (Osaki City)	Environment：Chida Clean Corporation (Osaki City)
4/3 最先端技術：YKK AP 東北製造所（大崎市）	4/3 最先端技術：YKK AP 東北製造所（大崎市）
Cutting-edge Technology：YKK AP Inc. Tohoku Plant (Osaki City)	Cutting-edge Technology：YKK AP Inc. Tohoku Plant (Osaki City)

4/4 ホームステイ（大崎市）	4/4 ホームステイ（大崎市）
Homestay (Osaki City)	Homestay (Osaki City)
4/5 ホームステイ歓送会（大崎市）	4/5 ワークショップ（大崎市）
Farewell Party with Host Family (Osaki City)	Workshop (Osaki City)

６－４．共通プログラム：報告会

4/6 報告会（千葉県）	4/6 修了証授与（千葉県）
Reporting Session (Chiba)	Presentation of Certificate (Chiba)

７． 参加者の感想（参加者の感想文の抜粋）
◆今回の訪問を通じて、もっとも印象に残ったこと、また帰国後伝えていきたいこと

７－１．グループＡ（訪問地：青森県）

・最も印象的だったことは、日本の人々の特徴や考え方です。勤勉で時間を無駄にすることがなく、何事も事前に計画し、常に「時間厳守」 で行動をしていました。 また、家族を何よりも大切にしており、日々のシンプルな暮らしの中にもその特徴が表れていました。食事は一緒に食べ始め、食べ終わるのも一緒でした。風呂のお湯も全員で使っていることからも家族の連帯感を優先していることを理解することができます。更に、どんな場所も整理整頓がされており、日本人が大変きれい好きだということが分かりました。 （インドネシア）

・最も強く印象に残ったことは、八戸工業大学による地元の人々や産業のニーズに応える協力活動です。視察した学部では、地元の人々が抱える問題やニーズに即した共同プロジェクトが進行中でした。津波を防ぐための防波堤の研究プロジェクトや、学生が地元企業からの依頼でブランディングを行う等です。これによって、学生はマーケットの状況を肌で理解し、企業イメージの向上に貢献することもできるのです。次に印象に残ったことは、日本科学未来館の展示方法でした。展示の配置方法はとても魅力的で、科学技術に対する興味が更に深まりました。ホンダが開発した乗り物「ユニカブ」も大好きです。
（ベトナム）

・日本の人々に出会い、私の考え方は大きく変化しました。まずは食文化が印象的で、日本では昼食に食べる量が少ないことに気づきました。これは午後の仕事中に眠くなるのを防ぐためだと思います。野菜や果物をたくさん食べ、健康的な食事が実践されていました。ホームステイでは、人々が地域の中で助け合い、良い人間関係を築いているのが分かりました。風邪をひいた時にはマスクを着け、他の人に感染させないように配慮する等、他人を思いやっていました。もう一つの例は、環境に対する責任感の強さです。環境保全のために規則を守り、資源のリサイクルや再利用に努めています。とてもフレンドリーで、常に微笑んで挨拶をし合い、訪問者に対しては最高の「おもてなし」を提供しています。 （マレーシア）

７－２．グループＢ（訪問地：青森県）

・私の日本に対する印象は三つあります。一つ目は、日本の人々についてです。日本の皆さんはとても親切で、おもてなしの心、寛大な心と敬意をもって私たちを迎え入れてくれました。日本人はお辞儀をするのが本当に好きで、誰に対しても「こんにちは」とあいさつをします。そして会ったばかりでも、無償で私たちを助けてくれました。日本人は時間、お金、労力の使い方に厳密で、無駄を嫌います。二つ目は、環境についてです。日本はとても清潔な国です。日本人は自然に敬意を示します。単にものや建物を作るだけでなくそれをきちんとメンテナンスしているので、日本のものは常に新しく見えます。日本ではリサイクルが行われており、ゴミを分別してそれをきちんと処理しています。三つ目は、テクノロジーについてです。日本がテクノロジーにおいてもっとも進んだ国の一つであることは否定できません。また物をシンプルにすることが好きで、常に問題を探して解決しています。日本科学未来館で見たものは、我々の国では未だ開発中のものばかりでした。日本での滞在は素晴らしいものでした。またぜひ、すぐにでも日本に戻ってきたいです。さようなら。 （インドネシア）

・日本は先進的なテクノロジー、そして大変礼儀正しく社交的な特性で長く知られていました。日本での滞在中、私が一番感銘を受けたのは、人々の労働倫理の素晴らしさや特質（細かいことへの配慮、時間の正確さ、意志の強さ、グループでの協力など）が、国の発展に明らかに表れているということです。この国は変化を恐れず、テクノロジーを日常のニーズに合わせて変化させながら利用しています（電子三味線、屋内の温泉など）。日本から帰ったら、必ず自分の経験をソーシャルメディアで共有し、日本から学ぶことのできるよい特質について自国の人たちに伝えます。でも私の考えでは、日本を宣伝する一番の方法は、日本をこのように成功に導いた特性のいくつかを私たち自身が身につけることだと思います。

時間に正確になり、細かいことにも配慮し、勤勉で、意志を強く持つようにして、私たちの生き方を通して、人々に日本のことを伝えることができると思います。（シンガポール）

・私は「裸の付き合い」という考え方に感銘を受けました。温泉に一緒に入ると特別な心の触れ合いができ、お互いの関係が深まるような気がします。日本のテクノロジーは非常に進んでいて、時間の節約、シンプルさ、効率性にねらいが定められており、未来にやって来たような気持ちになりました。日本では、実現したいと思ったことは人々の協力とそれに対する集中的な努力で簡単に実現できます。時間に正確で、待ち合わせの時間より早く着く習慣は称賛に値するものです。私はこのような特質やみんなが時間を守ることで生産性が上がるということを自国で伝えたいと思います。南部町に滞在して、日本では持続可能な生活があらゆる地域で実現しているのを見ました。日本人は環境にやさしい生活をし、環境も日本人にやさしくしてくれています。私は日本をお手本にして持続可能な生活というものを自国で推奨したいと思います。最後に、日本の国としてのあり方に感銘を受けました。どんな場所も地域も捨ておかれることはありません。すべての地域にその土地に特別なものがあり、それに磨きをかけようとしています。資源は平等に分配されており、みんなが一丸となっています。この発見を自国の仲間に共有し、日本での素晴らしい体験を Facebook で伝えたいと思います。（フィリピン）

７－３．グループＣ（訪問地：宮城県）

・最も驚いたのは、日本人の思いやり、親しみやすさ、そして包容力です。自分の宗教であるイスラム教を日本人が理解しようと努めるなんて想像もしていませんでしたが、実際日本人は理解しようとしたのです。たとえ理解しなくても日本人は私たちの信仰に敬意を払い、私たちのお祈りに手を貸してくれました。この積極性と誠実さは日本人の行動すべてに及んでいます。商品の販売から、道を聞かれて道順を教えることまで含め何であれ、日本の文化を自国のシンガポールに持ち込めたらと願わずにはおれません。日本の食べ物もおいしいです。靴を履いたり脱いだりする日本の文化（家に上がるときには靴を脱ぎ、その中でも床は最下位、それから畳は上位）もやっと理解することができました。清潔感があるこのような文化もシンガポールに持って帰りたいものです。残念ながら私は日本人ではありません。でも日本の印象深かった文化をいくつかでもシンガポールに持って帰りたいです。（シンガポール）

・一番印象的だったのは日本が震災から復興を遂げつつあることでした。なぜなら、自分にしても世界中の人々にしても震災の後は復興に手間取り、復旧も完全ではなく、以前のようには建設も元通りに進まないことをよく知っているからです。これは日本の先進性と国民の一致団結する姿をよく示しています。私が見たところ、この大震災からの復興が日本を最も快適な国に変え、日本のインフラをさらに高いレベルにしたと思えます。また日本の技術は大変進んでおり、世界で科学技術をリードしていると思います。日本には高い水準の文化と強い経済があることで、世界中で競争力を持ち、受け入れられているのだと思います。生活水準と社会インフラも大変進んでいます。私が今まで訪問した国々の中で、日本は偉大と呼べる国です。日本は素晴らしい。（東ティモール）

・私は日本人がどんなに時間を大切にしているかを知って驚きました。また、同時に美しい風景にも感動しました。特に、満開の桜がとても色鮮やかで魅惑的でした。何処へ行っても、環境が綺麗に保たれている事は素晴らしいと思いました。日本は開発を進めている一方で、自然の美しさを維持することが出来るのです。ホストファミリーにも感銘を受けました。特に大崎市の私のホストファミリーには驚きました。英語が上手な上に、更に私の母国語であるタガログ語とビサヤ語も話せるのです。ぜひまた日本を訪れたいと思います。（フィリピン）

７－４．グループＤ（訪問地：宮城県）

・私が観察したところによると、日本人は食べ物、清潔さ、そして十分に休息を取ることをとても留意していて、このことが、日本人の健康に大きく貢献してきました。余暇を過ごすのに空気が綺麗で、スペースも十分あるので、高齢者は自分が興味のあることを行い、人生を謳歌できます。健康な高齢者というの

は、身体によい食事を一日三食とり、毎日十分笑う人のことだと思います。このように書くのは、ホームステイ中に自分自身が実例を目にしたからです。このような生活習慣をシンガポールの高齢者に広めて、年を重ねることは喜ばしくて楽しめる経験だとなるには、どのようにすればよいか考えました。さらに言えば、非常に清潔であることと、人生を通して教わり、習ってきただろう何かによって、日本人は病気や痛みに悩まされる確率が低くなっています。過食をせず、身体によいものを食べ、手をまめに洗うという基本的な習慣は、多くの場合当たり前のこととされています。それでも、日々の習慣と、それらの習慣を行動に移すことによってウィルスを寄せ付けない生活実践のために日本人は病気にかかりにくく、政府の保険分野での歳出という負担が軽減されています。　　（シンガポール）

・日本人には極めて規律正しいという特徴があって、それがまず何よりも印象的でした。あらゆる人が平等に、敬意を持って扱われています。日本科学未来館も印象的で、科学の発明に関わるとてもよいアイデアが展示されていて、技術面の展示も強調されていました。この日本科学未来館のあり方は、科学に情熱を持つ人をとても力強く、または効果的に後押しするものです。訪問した中で私にとって最も印象的な場所は、鳴子温泉郷のバイオガスのリサイクル施設でしたが、そこでは発酵とメタンの作用を利用して残飯をエネルギー源として利用しています。特に廃棄物やゴミの面で、この仕組みは私の国に非常に参考になります。この技術がすでに確立されており、リサイクルの新しい効果的なやり方から代替エネルギーを生むことが可能だと分かってよかったです。JENESYS2.0 や、プログラムの実現に関わったすべての皆さんに、心から感謝しています。ありがとうございます。　　（フィリピン）

・私が一番印象に残っているのは、日本の人々です。ホストファミリーなど出会う日本人全員が、皆よい人で、親しみやすく、とても寛大に、もてなしてもらいました。伊達政宗、弁慶、河童、たくさんの日本のおとぎ話や日本の歴史文化についてホストファミリーと語り合ったり、日本語もたくさん教えてくれたりしました。また、Jリーグ・ベガルタ仙台の試合も一緒に観戦しました。日本のサッカーリーグはとても秩序だっていると思いました。また、アシモのような技術にフォーカスした日本科学未来館や素晴らしい現代的な技術を有するバイオ燃料を生産する企業、家具を製造する企業を視察し、日本の技術力を実感しました。東北工業大を訪問しましたが、日本の教育制度に関心を持ち、この大学の耐震技術にも驚きました。日本にありがとう、と言いたいです。また会いましょう。　　（ベトナム）

以上